

# Apache Web サーバの設定: 仮想サーバの別名設定

Apache の設定にて仮想サーバの別名設定を実施いたします。

こちらは、www.example.com にてブラウザより参照可能となっておりますが、  
example.com でも参照可能とする設定となります。

## 1. [サーバ] [Apache Webサーバ] [www.example.com 仮想サーバ] と進みます

ログイン名: root  
Webmin  
システム  
**サーバ**  
Apache Webサーバ  
BIND DNS サーバ  
CVS サーバ  
Dovecot IMAP/POP3 Server  
MySQL データベース サーバ  
Postfix の設定  
PostgreSQL データベース サーバ  
Proxmox Mail Filter  
SSH サーバ  
SpamAssassin Mail Filter  
Vsftpd  
Webalizer Logfile Analysis  
ユーザ E メールを読む  
その他  
ネットワーク  
ハードウェア  
Cluster  
Un-used Modules  
Search:

モジュール設定

Apache Webサーバ  
Apache バージョン 2.2.15

変更を適用  
Apacheを停止  
Search Docs..

グローバル設定 存在する仮想ホスト 仮想ホストの作成

Select all. | Invert selection.

他のすべての仮想サーバのデフォルト設定を定義し、処理されなかった要求をすべて処理します。  
アドレス 任意  
ポート 任意  
サーバ名 www.prox.jp  
ドキュメントのルート /var/www/html

名前指定されたサーバ www.prox.jp をアドレス ■■■ で処理します。  
アドレス ■■■  
ポート 任意  
サーバ名 www.prox.jp  
ドキュメントのルート /var/www/html

名前指定されたサーバ www.example.com をアドレス ■■■ で処理します。  
アドレス ■■■  
ポート 任意  
サーバ名 www.example.com  
ドキュメントのルート /var/www/html-example

名前指定されたサーバ www.prox.jp:443 をアドレス ■■■ で処理します。  
アドレス ■■■  
ポート 任意  
サーバ名 www.prox.jp:443  
ドキュメントのルート /var/www/html

Select all. | Invert selection.  
Delete Selected Servers

## 2. 仮想サーバのオプション画面となりますので、[ネットワークとアドレス]をクリックします

モジュール インデックス

仮想サーバのオプション  
www.example.com について

変更を適用  
Apacheを停止

プロセスと制限  
エラー処理  
プロキシ  
言語

**ネットワークとアドレス**  
ユーザとグループ  
SSLのオプション  
ディレクティブの表示

ログファイル  
エイリアスとリダイレクト  
PHP  
ディレクティブの編集

ドキュメントのオプション  
CGIプログラム  
自動仮想ホスト

MIMEタイプ  
ディレクトリのインデックス  
フィルタ

# Apache Web サーバの設定: 仮想サーバの別名設定

3. ネットワークとアドレスの設定画面となりますので、下記のように [ 仮想サーバの別名 ] 欄へと FQDN を追加しまして、[ 保存 ] いたします

モジュール インデックス

## ネットワークとアドレス

変更を適用  
Apacheを停止

www.example.comについて

www.example.comのネットワークとアドレス

ホスト名の検索	<input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> 2回検索する <input checked="" type="radio"/> デフォルト	RFC1413によるユーザ検索を行う	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> デフォルト
サーバ管理者のメールアドレス	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> <input type="text"/>	仮想サーバの別名	<div>example.com ns.example.com mail.example.com</div>
サーバのホスト名	<input type="radio"/> 自動 <input checked="" type="radio"/> <input type="text" value="www.example.com"/>	ブラウザが供給するホスト名を使用	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> デフォルト

保存

← サーバのインデックスに戻る

最後に、[こちら](#)の方法にて設定内容を有効化しまして、作業完了となります

一意的なソリューション ID: #1031

製作者: Prox System design

最終更新: 2015-06-05 10:03